



2023/9/16 SAT

平田満企画 「対話を考える」 vol.5 哲学対話ワークショップ

プラット・アソシエイト・アーティストである俳優・平田満の発案による企画「対話を考える」の第5弾。
今回は平田満がモデレーターを務め、アル☆カンパニー『POPPY!!!』の関連企画として実施いたします。
『POPPY!!!』公演の直後ですので、作品のテーマでもある、話が通じない人とのすれ違いや、異なる価値観とどう
対処していくか、などを柔らかく話しあっていきたいと思ひます。

2023年9月16日〔土〕16:30～18:00

- 場所＝穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 創造活動室 B
- 募集人数＝15名程度（選考・プラットで開催した哲学対話未経験者優先）
- 対象＝『POPPY!!!』を鑑賞する高校生以上（演劇経験不問）
- 参加費＝1,000円
- 講師＝平田満（俳優、プラット・アソシエイト・アーティスト）



俳優は「話す」ことよりも「聞く」ことのほうが難しいといわれます。自分ばかり喋って相手の話すことを聞いていないと空っぽの会話になります。表現という自分の考えや感情を表すことだと思いがちですが、それをどう聞いてくれるかで真実味、深みも変わってくるのではないのでしょうか。俳優に限りません。声の大きい人や力を持った人が会話の主導権を握ったり、難しい言葉についていけなかったり、残念な思いを経験した人は多いと思ひます。コミュニケーションがうまくいかないのはなぜでしょうか？

そのようなことを考えて、「聞く」ということをテーマに、様々な形で「対話」というものを皆さんとともに考える場を作りたいと思ひました。聞いてもらえることで自分が尊重されている、考える自由がある、ということを感じたり、人の話を聞き、考えることで固定観念を離れ、本来の自分とは何者かを見つけることができるのではないかと期待しています。

プラット・アソシエイト・アーティスト 平田満

“哲学対話”とは

子どもたちの思考力を養うために70年代にアメリカで始まった「子どものための哲学」に由来する。それは、哲学者の思想を教えたり抽象的な問題について議論したりするのではなく、各人が一人で思索にふけるのでもない。身近な問いから出発して、グループで一緒に問い、考え、話をしていくものである。中学校以上が一般的だが、小学校や幼稚園で行われることもある。いずれにせよ、共に話すことを通して共同で思考を広げ、深めていくのが哲学対話である。（インクルージブ・アーツ・フェスティバル2019 HPより）

応募方法

- 募集期間：7月15日（土）10時～8月18日（金）17時必着
- 申込：オンライン＝劇場ホームページの専用申込フォームより必要事項を記入して送信
窓口・FAX＝参加申込書に、必要事項を記入の上、プラット一階窓口、
プラットチケットセンター（0532-39-3090）またはFax（0532-55-8192）

お問合せ：穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地
TEL 0532-39-8810（9:00～20:00）FAX 0532-55-8192 <http://toyohashi-at.jp>

主催：公益財団法人豊橋文化振興財団 共催：豊橋市

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等活性化・ネットワーク強化事業）| 独立行政法人日本芸術文化振興会